

ツキノワグマによる人身被害防止のために

1 今後の予測

今年度は春からクマの出没が多発しており、遭遇リスクが高い状態が継続しています。また、今夏は小屋等への侵入、ニワトリや登熟前の農作物への食害、クマとの交通事故の多発など、過去に無いレベルでの大量出没が発生した令和5年度と類似した状況も各地で確認されています。さらに、ブナの実が極めて少ない「大凶作」も予測されており（東北森林管理局、林業研究研修センター）、クマの行動範囲の拡大が懸念されます。そうした中、集落にはクリやカキ、農作物や廃棄作物があり、それらを目当てにクマが出没している様子が既に全県各地で見られています。

こうした状況から、**今後も大量出没が継続することが予測され、人身被害の多発が危惧されます。**

2 住民への注意喚起

住民一人ひとりに令和5年度並みの注意を払っていただく必要があります。改めて広く、**強い注意喚起**を行い、具体的な対策の周知をお願いします。

- ◎ 現在、令和5年度を上回るペースで出没が多発しています
- ◎ **いつでも・どこでも・誰でも**クマに会う可能性があります
- ◎ 基本の対策を徹底し、最高レベルの注意を払ってください

3 基本の対策

● 音を出す

人身被害は集落内の散歩やゴミ出しといった日常生活の中でも発生しています。外出の際は、鈴やラジオで音を出し、クマとの鉢合わせを避けましょう。雨の日や風の強い日、沢や交通量が多い道路沿いは音が聞こえにくくなるため、特に意識して音を出しましょう。

● 目撃情報を共有する

クマを目撃した時は、市町村や警察に連絡するとともに、近隣住民に知らせる、クマダスを活用するなど、地域で情報共有しましょう。

● 食べ物は放置せず、管理する・片付ける

ソバや大豆などの農作物、米ぬか、廃棄作物、収穫しないクリ・カキなどを放置すると、クマを人の生活圏に寄せ付けてしまいます。堅牢な小屋に入れ施錠する、電気柵で囲う、埋却・焼却する、伐採する、実を収穫しておくなど、クマの食べ物は管理する・片付けるようにしましょう。

- **物置や車庫の扉はこまめに閉める**

クマが侵入し、中の物を食べたり、人と鉢合わせしてしまうことがあります。扉はこまめに閉め、クマの食べる物がある場合は施錠しましょう。

- **物置等に侵入された場合は市町村・警察に通報する**

物置等に侵入して食べ物を得る「成功体験」を積み重ねてしまうことで、最終的に家屋への侵入に発展するおそれがあるため、迅速な捕獲等の対応が必要です。物置等に侵入された場合は居座りの有無に関わらず、速やかに市町村や警察に通報しましょう。

- **やぶを刈り払い見通しをよくする**

見通しを確保すれば、クマの接近を防いだり、発見しやすくなります。木を伐らなくても、クマが隠れられない草丈にするだけで効果がありますので、できるだけやぶは刈り払うようにしましょう。

4 もしもクマと出会ったら

- ① **ゆっくり後ずさり**

落ち着いて、ゆっくり後ずさりしてください。

- ② **クマ撃退スプレーを使用する**

襲われそうになったら、クマに向かって一気に噴射してください。クマ撃退スプレーは正しく使用すれば有効です。いざというときに使えるよう、すぐに取り出せる場所に携行し、使い方を練習しておきましょう。

- ③ **顔と頭を守る**

不意にクマに襲われたり、クマ撃退スプレーの噴射が間に合わない状況では、とにかく顔と頭を守ってください。腕で頭や首をかばい、顔を伏せることで、顔の大きなケガや致命傷を防げる可能性があります。

※クマに出会ってしまってからではできることが限られます。絶対にケガをしない方法はないため、まずクマと出会わないことが重要です。外出の際は鈴やラジオ等を持ち歩き、人の存在を示すようにしましょう。

5 秋のクマ事故防止強化期間

県民に正しいクマ対策を普及し、事故を防ぐため一人ひとりができる行動を呼びかけるため、**秋のクマ事故防止強化期間（9月1日から10月31日まで）**を設定しています。県の公式サイトにクマ対策のチェックリスト付きチラシがありますので、注意喚起に御活用ください。

(<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/23295>)